

## 事業所における自己評価表

公表：

令和3年1月8日

事業所名： どーむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	・距離を保つために机を1人1台使用しているため、6名以上になると狭く感じる。	ソーシャルディスタンスを保つためには厳しいところもありますが、使用する教室を見直す等して改善を図ります。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	・運営の上では配置人数は足りていると思うが、マンツーマン対応のお子さんが多い日には厳しい日もあります。	マンパワーはもう少し必要と思っているため、求人については今後も募集をかけていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			発達の段階に応じた視覚支援等をさらに取り入れ、“安心”できる環境をすすめていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		感染症予防のためイス・机・ドアノブ・床等アルコール、消毒液を使用して清掃を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		I S O取得に向けてさらにPDCAサイクルの理解も進めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		保護者とは積極的にかかわる機会をつくるようにしています。	ほごしゃからの客観的な評価を大切に、今後の改善に役立てていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1		第三者評価による外部評価は実施できておりませんが、I S Oによる評価を法人全体として取り組んでおります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			今年度はコロナウイルスの影響から研修も実施できておりませんが、書籍やDVDを利用した内部研修を実施予定です。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		併行通園先の幼稚園・保育園とも積極的に連携し、情報共有することを心掛けています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			より詳細な状況把握ができるようにアセスメントツールの検討をしていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		3つの柱を基本に、発達支援ばかりに視点がいかないよう目標設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		個別支援計画検討会議を経て、適切な支援計画となるようチームとしての見立てを行った上で目標設定しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			一部は固定化してしまっている部分もあり、変化を持たせる工夫を今後検討していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5			個別支援ばかりになるとマンパワー不足となるため、事業所全体を見ながら工夫をすることで対応を図っていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	気になった点の共有は行っているが、勤務時間の関係もあり全員での打ち合わせの時間としてはとれていない	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			セルフプランが多いためあまり機会はありません。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5				

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			積極的に連絡を取り合い訪問しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		市町の教育委員会とも連携を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			併行通園の児童もあり、積極的に情報共有に努めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			3		地域の幼稚園・保育園との一緒になった行事等はできていないため、今後状況を見ながら検討をすすめていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			3		協議会には参加できていないため、参加ができるようであれば積極的に参加していこうと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	5	1			送迎を実施しているため、送迎対応の保護者とはゆっくり話せる時間は少ないが、電話等を利用し共通理解を深めるよう努力しています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	2			まだ実施できておらず、今後検討してすすめていきます。	
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3		年3回の茶話会を予定していたが、コロナウイルスの影響から中止となりました。

口への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		心配なこと、困ったことがある時には、面談の設定、電話での相談などで迅速に対応できるようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		毎月1回「どーむだより」を発行し、次月の予定や活動内容をお知らせしています。子どもに活動内容がわかりやすいよう写真を取り入れています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3			今年度は地域行事がすべて中止となり、接点は持っていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		月1回避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	職員間で情報を共有し、同じことが起こらないよう努めています。	事例集は作成していませんが、利用しているシステムを活用し、積極的に共有化を図っていきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		権利擁護については法人として研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6			

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。